

吉村知事が置賜の課題で意見交換 管内市町長、地域創生実践者らと

1/22(月)

知事と置賜管内市町長との意見交換会

「各市町が抱えている課題」と「各市町と米坂線」をテーマに、置賜3市5町の首長が一堂に会し、「知事と置賜管内市町長との意見交換会」を置賜総合支庁本庁舎で開催しました。

各市町長等から人口減少や医師確保、道路整備等の課題について発言があったあと、令和4年8月の豪雨災害により現在一部区間が不通となっている米坂線について、各々の考えや米坂線の全線復旧にかける思いなど、活発な意見交換が行われました。

吉村知事は「置賜の各市町の課題を共有し、米坂線についても重要な路線であると共通認識に立てた。置賜地域の発展・地域活性化のため、連携を図りながら取組みを進めていきたい」と述べました。



■ 総務課 連携支援室 ☎ 0238-26-6018

1/26(金)

置賜創生懇談会

置賜地域の課題解決・地域創生に向けて、地域で活躍している実践者から現場の実感の伴った意見をお聞きし、施策展開への反映を図る「置賜創生懇談会」を置賜総合支庁本庁舎で開催しました。

今年度は「地域における課題と今後の施策展開の方向性」をテーマに、各分野で活躍されている9名が人口減少や人手不足などの課題をあげ、地域の発展に向けた取組みや考えなどを発言されました。また、「これを機会に力を合わせて取り組みましょう」との建設的な提案もありました。これに対して吉村知事は「課題を解決できるように一緒に取り組んでいきたい」と述べました。



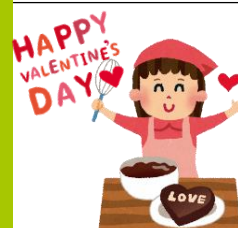
■ 総務課 企画調整担当 ☎ 0238-26-6100

目次

トピックス&事業報告		置賜地域移住セミナーの開催	…05
吉村知事が置賜の課題で意見交換	…01	産地研究室だより	
R4.8大雨災害復旧状況について	…02	お知らせ	
知事と若者の地域創生ミーティング	…03	冬の省エネチャレンジについて	
知事のほのぼの訪問		やまがた省エネ健康住宅について	
生徒と地域の大人の対話会の開催		道路除雪作業についてのお願い	…06
児童発達支援事業所等連絡会の開催		除雪作業中の事故に注意！	
おきたま6次産業セミナーの開催	…04	アニサキスに注意！	
職場定着セミナーの開催		犬猫の譲渡前講習会のご案内	
観光振興セミナーの開催			

置賜総合支庁ニュース2月号

発行元：山形県置賜総合支庁/Vol.192



総合支庁ニュースは
県HPでも公開中！



置賜総合支庁X(旧
Twitter)も活動中！

令和4年8月大雨災害の復旧 一日も早い安全安心の確保を目指して

道路、河川

国の災害査定により県管理道路21箇所、県管理河川136箇所が災害復旧事業箇所として認められました。置賜総合支庁では、被災直後から応急復旧や本復旧の準備に取り掛かり、特に被害の大きかった飯豊町の小白川や萩生川では、今後同様の被害が生じないように、新たな河川整備計画を立て、河道拡幅や河道掘削、蛇行を是正する改良復旧事業に取り組んでいます。令和5年12月末までに、道路では17箇所、河川では55箇所が完了しました。

今後も関係者が協力し、道路利用者や沿川住民の安全安心を確保するため、工事の早期完了を目指してまいります。

■建設総務課 建設技術調整担当 ☎ 0238-26-2232



国道121号(米沢市入田沢地内)道路川側法面復旧



萩生川(飯豊町萩生地内)護岸復旧



小白川(飯豊町小白川地内)護岸復旧



鬼面川(米沢市広幡町成島地内)護岸復旧完成

農業土木

農地約420ha、農業用施設約1,380箇所、林地・林道施設等約420箇所で大規模な崩落や破損が生じました。

市町や土地改良区による初動対応への支援や、災害査定への対応等を経て仮設を含む復旧工事に着手し、12月15日までに約90%の復旧が完了しています。

県南豪雨災害復旧対策室では、現在、県管理の用水路や川西町から受託したため池の復旧工事を進めているところです。

また、森林関係においても、川西町、飯豊町等の山腹崩壊箇所や林道施設等の復旧を進めています。

引き続き、早期復旧完了に向け取り組んでまいります。

■西置賜農村整備課 災害復旧担当 ☎0238-88-7332
■森林整備課 治山林道担当 ☎0238-26-6064

【鏡沼ため池(川西町)】



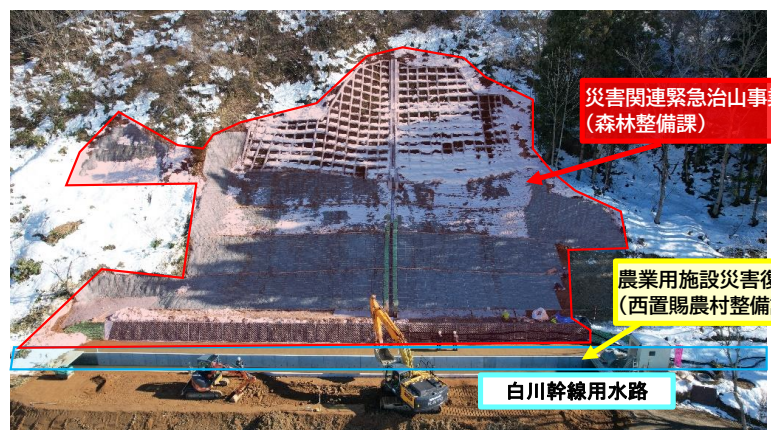
洪水吐工

放流工

【白川幹線用水路(飯豊町)】



【高峰地区山腹崩壊地(飯豊町)】



災害関連緊急治山事業 (森林整備課)

農業用施設災害復旧事業 (西置賜農村整備課)

白川幹線用水路

1/24(水)

知事と若者の地域創生ミーティング in 白鷹町

若者の豊かな発想や行動力を地域づくりに生かしていくため、知事が市町村に赴き、市町村単位で、若者が力を発揮できる環境づくりや地域課題、定住促進、地域の元気創出策などについて対話する「知事と若者の地域創生ミーティング」が白鷹町中央公民館で開催されました。

白鷹町で暮らす8名の若者が参加し、日々の生活で「こうなったらいい」と思っていること、その実現に向けて取り組んでいることを発表

しました。またフリートークでは、地元の良さを伝えていく大切さ、人口減少や自主防災など現在抱えている課題について、活発な意見交換が行われました。



1/24(水)

知事のほのぼのの訪問 飯豊町

知事が、様々な分野で活動している県民の団体やグループを訪問し、活動の現状や課題について意見交換を行う「知事のほのぼのの訪問」が飯豊町町民総合センター「あ～す」で開催されました。

飯豊町を拠点に活動されている女声合唱団「コラル・ド・めざみ」のみなさんが日々の活動についてお話しされ、吉村知事は、「活き活きと活動されていることで、心も生活も豊かに、地域全体が明るくなるのではないかとエールを送りました。



■ 総務課 企画調整担当 ☎ 0238-26-6100

「生徒と地域の大人の対話会」開催！

12月16日(土)、南陽市沖郷公民館を会場に「生徒と地域の大人の対話会」が開催されました。この対話会は、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の一環として、児童生徒がいじめ・非行、犯罪被害の防止・根絶について地域の大人とともに具体的に考え取り組む契機とするため、県内4地区で実施しているものです。

対話会では、南陽高校JRC・インターアクトクラブの生徒による活動発表が行われたほか、「STOPいじめ みんなの笑顔のために」をテーマに、いじめをなくすために私たちにできることについて、ワークショップ形式で生徒と地域の大人が意見を交換しました。各グループで活発な交流が行われ、参加した生徒からは、様々な世代と意見交換することで、いじめ問題について深く考えることができよかったとの声が聞かれました。

■ 子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当 ☎ 0238-26-6027



児童発達支援事業所等同士の顔の見える関係づくり

12月19日(火)に「置賜地域児童発達支援事業所等連絡会」を開催しました。この連絡会は発達障がい児等を受け入れている管内の児童発達支援事業所等の担当者が集まり、連携強化のための情報共有と療育支援にかかる技術向上のため、平成29年度より毎年開催しているものです。

はじめに、リニエプラッツかみのやまの加勢泰庸さんより、理論に基づく療育支援について実践報告をいただき、その後、当課で5年ぶりに実施した「気になる子」等支援状況調査の結果を基に、発達面に何らかの支援を要する子どもたちへの支援の現状や課題について意見を交わしました。3年ぶりの対面開催で、事業所間の顔の見える関係づくりの機会となりました。



■ 子ども家庭支援課 保健支援担当 ☎ 0238-22-3205

地域資源を活かした商品開発と販路拡大を目指す！ 「おきたま6次産業セミナー」開催！

置賜地域の6次産業(地域の農林水産物を原料とした付加価値の高い商品づくり)の更なる発展に向け、2月1日(木)に「おきたま6次産業セミナー」を開催しました。講師の(合)SOZO代表の吉岡隆幸さんと、(有)新杵屋代表取締役の舩山百栄さんは、自ら商品開発・販路開拓に取り組む傍ら、販売業も営み、バイヤーとしても目利きで、日々全国各地を飛び回り活躍されています。

農産加工事業者や食品製造業者、6次産業化の支援に取り組む約40人の参加者は、最新の消費動向や、商品開発の難しさが必要な視点、コロナ禍を逆手にビジネスチャンスをつかんだ全国の商品開発の事例などを学びました。また、実際に商品開発に取り組む10事業者は、商品価値の向上や、顧客層や販路の拡大に向け講師との個別相談にも臨みました。中には講師との商談に発展した商品もありました。

参加者は、自身の取組みへのヒントをたくさん得ることができた様子で、セミナー終了後も、講師との熱気あふれる交流が続き、今後の更なる6次産業の発展が期待されました。



開発商品の求評・個別相談

■地域産業経済課 ☎0238-26-6042

「職場定着セミナー～若手社員定着率向上を目指して～」 in川西町交流館あいぱるを開催しました！

講師にキャリアカウンセラーの浅野えみさんを迎え、職場定着セミナーを開催しました。

①若手社員向け 11月29日(水)

第1部は講師からコミュニケーションスキル等の講話とワーク、第2部は㈱ホリエの鈴木郁哉さんから、先輩社員として事例発表していただきました。鈴木さんの山形を楽しむライフスタイルや、仕事に喜びを見出す姿に、参加者は大いに刺激を受けていました。第1部、第2部を踏まえたグループワークでは、それぞれの強みなどを話し合い、地域の仲間として交流を図りました。

②経営者・人事担当者向け 12月6日(水)

第1部は講師が生徒・学生等約800名を対象に行った「就業意識調査2023」の結果を基に、若者の意識や考え方について分析いただきました。続いて、経営者の事例発表として、斎藤マシン工業(株)の中川健社長、㈱大久保硝子店の大久保徳朗社長から会社で実施している様々な取り組みを話していただきました。お二人とも明確な会社のビジョンや方向性を持ち、自分だけでなく、社員にもどうすれば実現できるか考えてもらい実行しているとのこと。第2部のグループワークでは活発に意見が交わされ、参加者からは「自社で導入したいことがたくさん見つかった」などの声を頂きました。



若手社員向けセミナー



経営者向けセミナー

■地域産業経済課 産業振興担当 ☎0238-26-6092

観光誘客と観光消費額の拡大に向けたヒントを探る — おきたま観光振興セミナーを開催！ —

12月15日(金)米沢市の伝国の杜において、関係者約80名が参加して「おきたま観光振興セミナー」を開催しました。

『最新の旅行実態:じゃらん宿泊旅行調査2023』では、「置賜エリアへの初回訪問者の割合は低い、リピーター率が高い」、「食・温泉を目的とした訪問が多く、満足度も高い」などの置賜エリアへの旅行者の傾向が示されました。

つづくパネルディスカッション『OTAサイト等を活用した戦略的な観光誘客』では、登壇者から「特徴的なコンテンツを集中的に売っていく」、「コンテンツの魅力を高め、高付加価値化していく」、「地元の人が地元の観光資源を知る機会を作っていくことが重要」などの意見が出されました。



■地域産業経済課 観光振興室 ☎0238-26-6098

くらすべ置賜！ 東京で置賜地域移住セミナー開催

山形への移住や置賜での暮らしに興味のある方を対象に、移住セミナー「くらすべ置賜！～おきたまぐらし見にきてけろ～」を12月23日(土)に東京・有楽町のふるさと回帰支援センターで開催しました。

30代から60代の男女14名が参加し、置賜3市5町の紹介や、高畠町、白鷹町にそれぞれ移住した先輩移住者2名の移住体験談の発表の他、市町との個別相談会を行いました。参加者の多くが個別相談にのぞみ、終了間際まで熱心に相談を続けるなど、大変盛況となりました。参加者からは、「なかなか知ることができなかった市町の魅力についても知ることができ、参考になった」等の感想を頂きました。



■ 総務課 連携支援室 ☎ 0238-26-6021

わさびなの栽培特性が明らかに！

置賜地域では、ビニールハウスで栽培するミニトマトや水稻育苗の後作として、冬期間に「わさびな」を栽培する農家が多くありますが、これまで「わさびな」の栽培特性や収量は明らかになっていませんでした。そこで、9月上旬から11月上旬まで、2週間おきに4回、植える時期をずらした栽培試験を行いました(令和2～4年)。

その結果、ビニールハウスの前作に応じて播種時期を選択すると、その収穫開始時期と収量が把握できるようになり、農家が作付計画を立てやすくなりました。また、緩効性肥料を使用し、ポリエチレンフィルムを被覆することによって、収量が20%向上し、暖房をしなくても凍害を受けにくくなることがわかりました。

「わさびな」はサラダ、おひたし、肉巻き等、色々な料理に使えますので、スーパーや直売所などでぜひ手に取ってみてください。

■ 農業技術普及課 産地研究室 野菜担当 ☎ 0238-47-2115



ポリフィルム被覆で厳冬期もシャキッとしています

被覆資材の種類によっては凍害でクタクタと倒れてしまいます

冬の省エネにチャレンジしよう！

山形県では、「ゼロカーボンやまがた2050(ニーゼロゴーゼロ)」を宣言しています。これは、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指すものです。

冬季は寒さが一段と厳しくなり、暖房器具の使用などによるエネルギー消費量が増える時期です。毎日の生活の中で、例えば、重ね着などをして、暖房時の室温は20℃を目安にする(節電効果約2%)、不要な照明は消す(節電効果約4%)、入浴は間隔を空けずに入る(ガスの省エネ5.6%)など、家庭でできることから省エネの取組みを始めてみませんか。

なお、暖房等の室温管理での省エネを行うときは、健康に配慮し、無理のない範囲での取組みをお願いします。身近な冬の省エネの取組みについて、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



©YOC

■ 環境課 環境企画・自然環境担当 ☎ 0238-26-6035

やまがた省エネ健康住宅 夏も、冬も、快適に暮らしてみませんか？

県では、「やまがた省エネ健康住宅」へ支援を行っています。住宅を考えている人はHPをチェック！

山形県住宅情報総合サイト

タテッカーナ

詳しく知りたい方はこちらへ



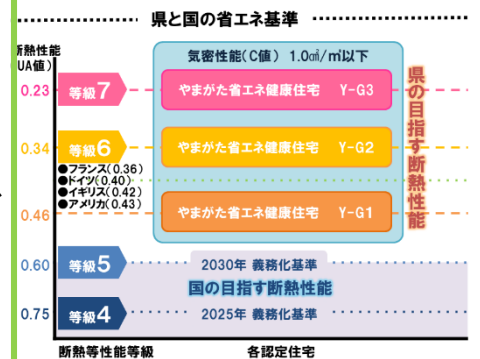
「やまがた省エネ健康住宅」とは？

一般的に高断熱・高气密住宅と呼ばれる住宅の中でも、山形県が全国に先駆けて独自に定めた断熱性能と気密性能をクリアし、認証を受けている省エネ性能の高い住宅です。県が設計審査、断熱・気密工事の現場検査を行い、全ての基準をクリアした住宅だけが「やまがた省エネ健康住宅」の認証を受けることができます。

「やまがた省エネ健康住宅」にするメリットは？

冬に廊下や脱衣場が寒いと感じることはありませんか？「やまがた省エネ健康住宅」は住宅内の温度差が小さく、お風呂上りも脱衣場が寒くないことから、ヒートショックを起こさない等、健康に過ごすことができます。

さらに、冷暖房の効率が良いので、快適な温度を保ちながら電気などのエネルギー消費を抑えることができお財布にもやさしい住宅です。



■ 建築課 審査指導担当 ☎ 0238-26-6091

道路除雪作業にご理解ご協力を



日頃より除雪業務へのご協力ありがとうございます。除雪作業を安全・効率的に進めるために皆様のご理解・ご協力をお願いします。

○深夜・早朝の除雪にご理解を！

通学通勤時間に間に合わせるため、除雪作業は早朝や深夜に行うことがあります。

○寄せ雪処理にご協力を！

除雪後は宅地入口に多少の雪が残ってしまいます。各ご家庭やご近所で協力し合い除雪をお願いします。

○道路に雪を捨てないで！

道路が狭くなり歩行者が危険になったり、雪が凍ってスリップ事故の原因になったりします。

○流雪溝の投雪ルールを守りましょう！

地区で決められたルールを守り、作業後は必ず蓋を閉めましょう。

○除雪車に近づかないで！

除雪車の周辺は運転手の死角となり危険です。

■道路計画課 維持管理担当
☎ 0238-26-6080

雪下ろし作業・除雪作業中の事故に注意！安全対策を万全に！

この冬も本格的な降雪期を迎え、例年この時期は、除雪や雪下ろしによる事故が増加します。

昨年度の事故原因で最も多いのが、屋根やはしごからの転落で、次いで除雪作業中の転倒、落雪による事故が続きます。年代別では、65歳以上の高齢者の雪害事故が多く、全体の7割を超えています。

屋根の雪下ろしを行う場合は、ヘルメットや命綱を装着し、2人以上で安全な作業に心がけましょう。また、除雪機による事故や屋根からの落雪にも十分注意しましょう。

安全な雪下ろし作業の8つのポイント

- ①2人以上で周囲にも注意！
- ②安全な服装で！
- ③ヘルメット・命綱を使いましょう！
- ④はしごはしっかり固定！
- ⑤使いやすい除雪道具を！
- ⑥屋根の雪のゆるみに注意！
- ⑦無理な作業はやめましょう！
- ⑧順序を守って、足場は特に注意！



○雪下ろし用安全装備品の貸出

総務課防災安全室では、命綱や、ヘルメット、墜落制止用器具の貸出を行っています。詳しくは電話でお問合せください。

■総務課 防災安全室 ☎ 0238-26-6007

アニサキスにご注意ください

アニサキスは、カツオ、サバ、サンマ、イワシ、サケ、イカなどの魚介類に寄生する長さ2～3cm、白い糸のように見える寄生虫です。アニサキスが寄生している魚介類を生で食べると、



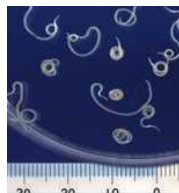
サバに寄生したアニサキス

胃や腸壁に刺入し、数時間～数十時間後にみぞおちの激しい痛み、嘔吐などを引き起こします。

アニサキス食中毒の発生件数は増加傾向にあり、令和4年は全国で566件発生し、過去最多となりました。次の点に注意し、予防に努めましょう。

予防方法

- ①新鮮な魚を選び、速やかに内臓を取り除く。
内臓を生で食べない。
 - ②目視で確認する。
 - ③加熱する。(60℃で1分以上)
 - ④冷凍する。(−20℃で24時間以上)
- ※ 酢、醤油、わさびなどでは死滅しません。



■生活衛生課 食品衛生担当 ☎ 0238-22-3740

犬猫の譲渡前講習会のご案内

置賜保健所では、保健所から犬・猫を譲り受けたい人を対象に、講習会を行っています。講習会では犬・猫を飼う時に守るべき法律事項、飼う時の心構え、迷惑にならない飼い方やしつけのポイント、注意したい病気のことなどをお話します。

講習会は毎月第3木曜日の午後2時から開催しています。受講を希望される方は、事前に下記連絡先にお問い合わせください。



犬・猫をあなたの家族に迎えるまでの5STEP!



■生活衛生課 乳肉衛生管理担当 ☎ 0238-22-3750